

# 発達障害かどうか、一目でわかる？ 理解しておくべき障害の種類と特性

何がわかる？  
 ● 支援するときに知っておくべき知識  
 ● 発達障害の特性と愛着障害との関係

● 発達障害の特性と愛着障害との関係  
 ● 発達障害の特性と愛着障害との関係

**はじめに 発達障害の種類**  
 ● 自閉スペクトラム症 (ASD): 2つ以上の「こだわり」+社会的コミュニケーション障害  
 ● ADHD (注意欠如・多動性障害): 多動、衝動、不注意、12才までに始まる

LD (学習障害)  
 読字障害 → ①文字の読み ②文の理解  
 書字表出障害 → ③綴字、困難 ④作文、困難  
 算数障害 → ⑤数値、理解、言算、困難 ⑥数学的推論、困難

● DCD (発達性協調運動障害): 動きが不器用

子どもの「グレーゾーン」は様子見にはいけない  
 「様子を見ましょう」: 「障害じゃないから大丈夫」ではなく  
 「将来が左右される状態や」と捉える  
 → 困り感が出てこないかよく見る or 療育に行けるか相談する  
 ● 発達障害の診断はどう出るの？  
 発達検査の結果 + 症状や生活の支障 (困り感)  
 ● ほっとくと、困り感がどんどん増えていく人やなあ

## 特性と困り感①

1. こだわり: 同じ行動をくり返すタイプも  
 ① 単純な行動のくり返し  
 ② 一連の行動や思考パターンのくり返し  
 ③ 特定の対象への強い執着  
 ④ 感覚過敏 非は鈍感さ

2. 空気がよめない: 社会的コミュニケーション障害  
 ① 相互の対人的一情緒的關係、欠落  
 ② 非言語的コミュニケーションの障害  
 ③ 社会的スキルの障害

3. イメージできない  
 ① 数学・物理の成績が悪い  
 ② コミュニケーションが苦手  
 ③ 細かいことにとらわれる

## 特性と困り感②

4. 共感が苦手 (相手がなぜ怒ってる、悲しいかわからない)  
 ルールや決まりごとを重視: 人間関係も  
 5. たいちばい過敏 ASDタイプ HSPタイプ  
 ① 感覚過敏 自分には敏感 ある  
 ② 人の顔色に敏感 他人には鈍感 強い  
 不安や緊張 → 頭痛、めまい、肩こり、腹痛、下痢など

6. 生活が混乱しやすい (不注意からのミス)  
 ADHD → 12才までに始まる、年齢とともにまよくなる  
 疑似ADHD → 12才以降、きつくなる、他の症状

7. 動きがぎこちない... DCD  
 板書ができないこともあ

8. 勉強が苦手  
 ● 全般的に低い  
 ● ある領域に低い LD  
 ● 注意力課題  
 ● こだわり

## 愛着の問題かも? の視点

幼いときに満たされなかった欲求や充足感が残る  
 ↳ こだわりが出ることもある  
 回避型愛着スタイル: 親い関係も重荷、他人も避ける  
 ↳ 社会的コミュニケーション障害 (人と関わりにくい)  
 回避型パリアリウム (障害): 親いのかいけど、行動に起こせない  
 ↳ 社会的コミュニケーション障害 (怖くて人と関われない)  
 不安型愛着スタイル: HSPとほぼ同じ  
 ↳ たいちばい過敏  
 恐れ・回避型愛着スタイル: 他人に気がつくけど他人も避ける  
 ↳ 相手に受け入れてもらいたいが、相手が  
 ↳ ASDと見分けがつかない  
 特性を知った上で、発達か愛着か他の問題か、探る大事や